いま、物流が熱い。

情熱物流

JONETSU BUTSURYU

株式会社ロジコム

2023年度

環境経営レポート

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

LOGICOM

CONTENTS

1.トップメッセージ …1

2.会社概要 …2
- 関連会社
- 事業所名
- 実施体制

3.方針 …7
- L70計画　基本方針
- 環境経営方針
- 事業活動

4.環境負荷の実績 …9
- 環境負荷の実績と評価

5.環境経営目標 …12
- 中期環境経営目標

6.環境経営計画 …13
- 持続可能な開発目標とEA21の取組との関係性

7.取組 …15
- 二酸化炭素
- 廃棄物
- 非常事態訓練/コミュニケーション
- コンプライアンス
- 働き方改革
- 社会貢献

8.代表者によるマネジメントレビュー …23

報告対象期間

2023年4月1日～2024年3月31日

発行日

2024年7月1日

改訂日

2024年12月1日
＊EA21審査時における文面追加
・9p　売電実績の追加
・13p 新たな取組の追加
・23p 見直し内容の追加

私たちは、地域と地球の環境に配慮した事業者です

®環境省

エコアクション21

認証番号0003413

1. トップメッセージ

当社は社是社訓である「信頼と貢献」の構築のために、全てのお客様に対してその責任と義務を果たすべく、ロジコムグループとして、積極的に安全、品質、環境、社会等のあらゆる活動に取組んでおります。

近年の事業規模拡大に伴い、当社の化石燃料使用による二酸化炭素排出量は増加傾向でありますが、事業活動における環境負荷の低減は我々の使命であると自覚し、積極的な使用効率の改善を行っております。地球環境・社会・経済への課題解決策としては、193か国の国連加盟国によって2015年9月に国連サミットで採択された持続可能な開発目標（SDGs）の実現に貢献できるように努力致します。

2024年7月1日
ロジコムグループ　代表　大上 正人

2. 会社概要

社名　　株式会社ロジコム
代表者名　　大上　正人
設立　　2022年4月
資本金　　1億円
売上高　　323億円（2024年3月期）
従業員　　816名（社員）
倉庫延床面積　282,772㎡

主な事業内容
・自動車部品会社及び関係会社の製品保管その他一切の業務
・倉庫業
・貨物利用運送事業　等

福島営業所

【関連会社】

社名　　株式会社ロジコムホールディングス
代表者名　　大上　正人
設立　　1959年6月
資本金　　24,540万円
売上高　　20億円（2024年3月期）
従業員　　60名（社員）
事業所延床面積　529.52㎡

主な事業内容
・ロジコムグループの経営管理
・ロジコムグループの経営企画
・不動産の賃貸
・システム開発
・発電・売電に関する事業
・前各号に関するコンサルティング業務

2. 会社概要

【関連会社】

社名	株式会社ロジコム・アイ
代表者名	小林　雄
創業	1969年12月
資本金	4,800万円
売上高	44億円（2024年3月期）
従業員	451名（社員）

主な事業内容
・貨物自動車運送事業
・引越業務
・自動車/フォークリフトの整備、修理
・貨物利用運送事業　等

社名	株式会社ニチブツ
代表者名	大上　正人
創業	1988年8月
資本金	4,000万円
売上高	1.2億円（2024年3月期）
従業員	5名（社員）

主な事業内容
・東京海上日動火災保険代理店
・東京海上日動あんしん生命保険代理店
・不動産賃貸業
・物品販売　等

事業所名

本社/16営業所/工場/18物流センター

★…株式会社ロジコム・アイ　◆…株式会社ニチブツ

事業所名		所在地
本社	★◆	〒732-0044　広島県広島市東区矢賀新町5-7-4
福島営業所	★	〒960-0251　福島県福島市大笹生兎橋1-1
北関東営業所	★	〒326-0836　栃木県足利市南大町字宮西281-1
藤沢営業所	★	〒252-0811　神奈川県藤沢市桐原町15-2
浜松営業所	★	〒430-0822　静岡県浜松市南区東町736-1
名古屋営業所	★	〒470-1207　愛知県豊田市鴛鴨町郷上200
豊田東物流センター		〒470-1207　愛知県豊田市鴛鴨町治林131 (名古屋東部陸運株式会社構内)
鈴鹿営業所		〒513-0825　三重県鈴鹿市住吉町字上野田5783-1
滋賀営業所	★	〒520-2552　滋賀県蒲生郡竜王町大字小口字広谷1284-13
竜王物流センター		〒520-2552　滋賀県蒲生郡竜王町大字小口字広谷1303
阪神物流センター		〒664-0842　兵庫県伊丹市森本7-108-1 (名古屋東部陸運株式会社構内)
岡山営業所	★	〒713-8103　岡山県倉敷市玉島乙島字新湊8263-18
広島営業所	★	〒731-4311　広島県安芸郡坂町北新地1-1-34
海田物流センター		〒736-0034　広島県安芸郡海田町月見町4-11
広島シーサイド 物流センター		〒731-4321　広島県安芸郡坂町植田1-1-16
広島西物流センター		〒733-0036　広島県広島市西区観音新町4-6-16 (三井不動産ロジスティクスパーク広島１内)
東広島営業所	★	〒739-0153　広島県東広島市吉川工業団地11-2
熊野物流センター		〒731-4213　広島県安芸郡熊野町98-18くまの産業団地内
山口営業所	★	〒747-0833　山口県防府市浜方89-1
防府三田尻物流センター		〒747-0825　山口県防府市大字新田築地2039-3
海田工場		〒736-0034　広島県安芸郡海田町月見町9-8
北九州営業所	★	〒800-0314　福岡県京都郡苅田町幸町7-135
苅田物流センター		〒800-0321　福岡県京都郡苅田町新浜町1-6 (鶴丸海運株式会社構内)
熊本物流センター		〒869-1236　熊本県菊池郡大津町大字杉水2889-2
福岡営業所	★	〒822-0151　福岡県宮若市水原210
鞍手営業所	★	〒807-1307　福岡県鞍手郡鞍手町大字室木765-15
中津営業所	★	〒879-0124　大分県中津市田尻崎20-3

実施体制

（1）認証登録の対象範囲

・自動車部品関連物流サービス、自動車部品製造業、自動車部品関連運輸サービス
太陽光発電売電業、不動産賃貸業、 損害保険業
・株式会社ロジコムは、株式会社ロジコムホールディングスは、株式会社ロジコム・アイ、
株式会社ニチブツをグループとした認証登録

（2）①実施体制

ロジコムグループ

㈱ロジコム
代表取締役社長

㈱ロジコムホールディングス
代表取締役社長

㈱ロジコム・アイ
代表取締役社長

㈱ニチブツ
代表取締役社長

環境管理責任者
品質管理部 部長

EA21環境事務局
品質管理部

㈱ニチブツ

ロジコム/ロジコム・アイ
事業部　環境責任者

第一事業部
統括部長

第二事業部
統括部長

第三事業部
統括部長

第四事業部
統括部長

内部監査員　（社内認定試験合格者）

第一事業部
環境責任者
営業所長/センター長

第二事業部
環境責任者
営業所長/センター長

第三事業部
環境責任者
営業所長/センター長

第四事業部
環境責任者
営業所長/センター長

実施体制

②環境経営システム責任と権限一覧表

担当者	役割・責任・権限
代表者	・環境経営に関する統括責任
	・環境経営システムの実施及び管理に必要な、人、設備、費用、時間、技能者を用意
	・環境管理責任者を任命
	・環境経営方針の策定、見直し及び全従業員への周知
	・環境経営目標の承認
	・代表者による全体評価と見直しを実施
	・環境経営レポートの承認
環境最高責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理
	・法規制等要求事項登録簿を承認
	・環境関連の外部コミュニケーションの窓口(外部機関)
	・環境活動の取組結果を代表者へ報告
	・環境経営レポートの作成
	・内部監査員の選任及び内部監査実施の指示
EA21環境事務局	・ＥＡ21推進の事務局
	・環境関連法規等チェックリストの作成
	・環境経営レポートの公開(地域事務局への送付)
	・特定された項目の手順書・基準書の作成
	・特定された緊急事態への対応のための基準書・手順書の作成
事業部環境責任者	・環境最高責任者の補佐
	・品質環境改善計画書の承認
	・統括営業所の環境に関する統括責任者
	・統括営業所の環境に関連する全ての項目の計画と実績の確認・フォローをする
営業所環境責任者	・自営業所における環境経営システムの実施
	・環境への負荷の自己チェックリスト及び環境への取組の自己チェックの実施(自営業所分)
	・自営業所における環境経営方針の周知
	・自営業所の従業員(社員・パート・人材)に対する教育訓練の実施
	・自営業所に関連する環境経営目標及び環境活動計画の作成と実施及び達成状況の報告
	・手順書の運用
	・特定された緊急事態への対応のためのテスト・訓練記録
	・環境関連の外部コミュニケーションの窓口(顧客・地域)
	・自営業所の問題点の発見、是正、予防処置
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚
	・決められたことを守り、自主的、積極的に環境活動へ参加
内部監査員	・環境管理最高責任者の指示により内部監査の実施
	・ガイドラインや管理規定、基準書に適合し継続的な改善活動になっているかの監査
	・内部監査の実施結果を環境最高責任者、経営者へ報告

3. 方針

【Ｌ70計画　基本方針】創立70周年（2029年度）を目標にした中期計画

(1)国際社会から信頼される企業を目指す
(2)常に新しいことに挑戦する
(3)個性を伸ばし、能力を高める
(4)夢を語り、夢の実現を

【環境経営方針】

ロジコムグループは、物流及び製造、保険代理店業務を通じて社会に貢献する為に、ＥＡ21の環境経営マネジメントシステムを継続的に改善し、環境負荷低減による環境保全推進、及びGHG(温室効果ガス)排出量を削減する。

（1）環境関連の法令、規則、社会的規範を遵守する。
（2）事業活動の全段階を通じて、環境に与える影響の中で以下の項目について環境保全活動を推進する必要性を認識して、全社的活動として行動する。
　①　電気エネルギーの使用効率を向上させ化石エネルギーの抑制を図る
　②　廃棄物の排出効率及び水の使用効率の向上を図る
　③　環境に配慮した設備、備品の販売及び使用をする
　④　有害な化学物質の把握による適正な管理をする
　⑤　太陽光発電等による電気需要の最適化を図る
（3）全従業員に対し、環境に関する教育と訓練による意識向上活動を実施する。
（4）地域や環境団体の環境活動に積極的な取組みをする。
（5）この方針を公開し、社内外のコミュニケーションに努め、又事業環境の変化等により定期的及び必要に応じて随時見直しをする。

株式会社ロジコムホールディングス　代表取締役社長　大上　正人
株式会社ロジコム　代表取締役社長　大上　正人
株式会社ロジコム・アイ　代表取締役社長　小林　雄
株式会社ニチブツ　代表取締役社長　大上　正人

制定日　2008年4月1日
改訂日　2022年4月1日
改訂日　2022年7月1日
改訂日　2024年4月1日

【事業活動】

中国新聞に掲載

物流の合理化

(1)共同物流（集荷/輸送/納品）の実施

自動車部品の共同輸送、トラックの積載効率向上による物流の合理化

道路及び工場内の車両削減を実現

(2)物流デポへの集約

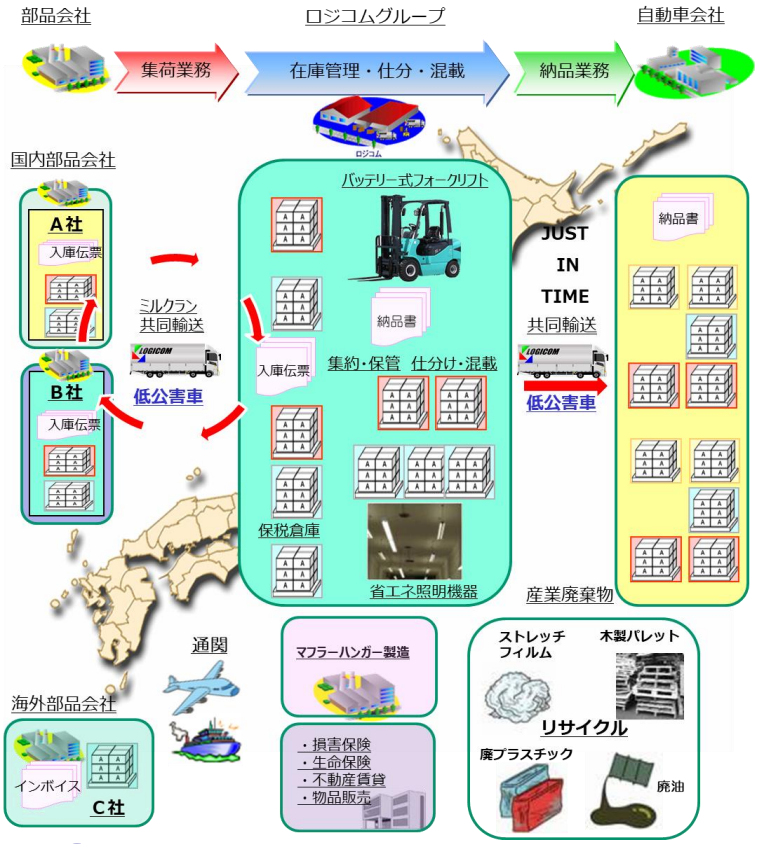
物流の拠点（デポ）に集約することで、荷役作業の効率化等による

JITの実現へ貢献

(3)通関から最終地までの一貫物流

海外での会社設立及び輸出入品の通関手続きから最終納入先迄

一貫した物流業務を実現



4. 環境負荷の実績

【環境負荷の実績と評価】

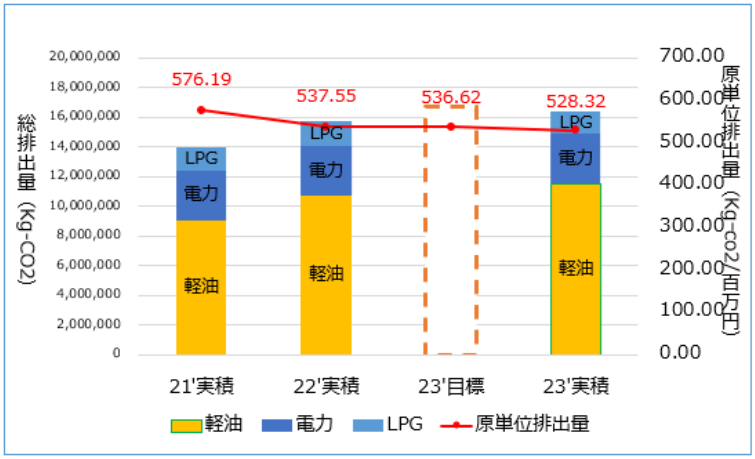
＊次年度の環境経営目標(P12)及び環境経営計画(P13)参照

（1）2023年度　目標達成状況

環境経営目標項目		2020年度 基準年	2023年度 目標値	2023年度 実績値	評価
原単位 当たりの 削減	二酸化炭素排出量の削減 （kg-CO_2/売上百万円）	604.01	536.62	528.32	○
	産業廃棄物排出量の削減 （ｔ/売上百万円）	0.1090	0.0891	0.1107	×
	水使用量の削減 （㎥/売上百万円）	0.5355	0.4736	0.4363	○
総排出量	二酸化炭素（kg-CO_2）	14,323,411	16,688,995	16,372,278	
	産業廃棄物（t）	2,586	2,772	3,430	
水使用量	水道（㎥）	12,700	14,728	13,552	
化石燃料の 使用量	LPG（kg）	519,891	730,874	504,272	
	軽油（ℓ）	3,689,175	4,097,333	4,461,557	
購入電力	電力（kw/h）	6,271,274	7,694,051	6,423,847	
化学物質の 適性管理	有害物質量の把握と管理	対象品の 把握と 適性管理	対象品の 把握と 適性管理	対象品の 把握と 適性管理	
事業規模	売上高（百万円）	23,714	31,100	30,989	
	トラック走行距離（km）	13,290,362	14,636,269	16,150,994	
電力 売電実績	九州電力・東京電力 （kw/h）	―	―	149,859	

（2）原単位（売上）当たりの実績

二酸化炭素排出量



【実績分析】

・二酸化炭素排出量は原単位8%減にて目標達成となりました。

・LPG、電力、軽油の使用量から算出していますが、目標達成できている理由として売上増、いわゆる取り扱い荷量が増えているにも関わらず省エネ意識維持にて抑えられていることと、LPGリフトからバッテリー式への変更が成果に繋がっていると考えられます。

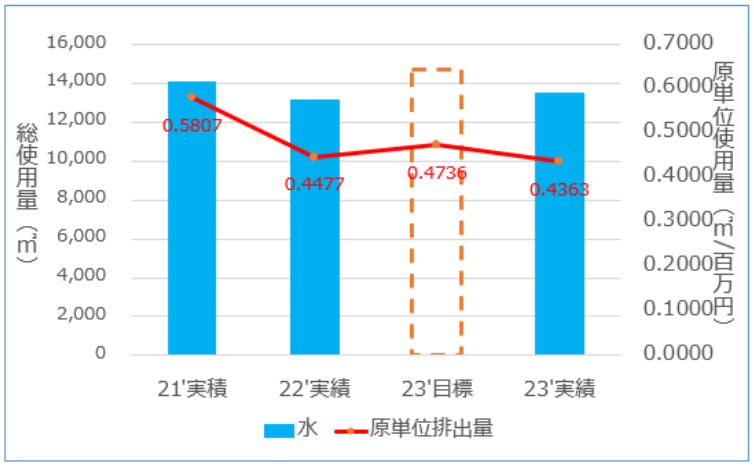
産業廃棄物排出量

【実績分析】

・原単位では目標値に対して約20%増となり目標未達成となりました。

・要因は二酸化炭素排出量分析と同じく売上増に伴う排出量の増加であり、特に海外製品の荷量が増えているということですが、廃棄物の圧縮や分別等の取組は一定の効果を得られていると考えられます。

水道使用量



【実績分析】

・原単位では目標値に対して減となりました。

・着目したいことは、売上が増加するも使用量が昨年度よりも減となっている結果であり、要因としてはトラックの洗車抑制と、各人員の節水取り組みによる相乗効果が考えられます。

（3）営業所の環境経営目標と実績及び評価

営業所	二酸化炭素排出量 kg-CO_2/売上百万円			産業廃棄物 t /売上百万円			排水 ㎥/売上百万円		
	目標	実績	評価	目標	実績	評価	目標	実績	評価
全社	536.62	528.32	○	0.0891	0.1107	×	0.4736	0.4363	○
福島	532.81	1,195.36	×	0.0068	0	○	0.1404	0.5391	×
北関東	551.31	494.80	○	0.1705	0.0780	○			
藤沢	550.10	565.83	×	0.2053	0.3214	×	0.8391	0.6436	○
浜松	324.28	264.06	○	0.006	0.0279	×	0.3926	0.3115	○
名古屋	373.59	408.53	×	0.1126	0.0836	○	0.1261	0.3478	×
鈴鹿	307.80	287.09	○	0.7014	0.7635	×	0.4969	0.4733	○
滋賀	1,004.00	817.23	○	0.0177	0.0230	×	0.5524	0.6245	×
岡山	265.99	272.48	×	0.1836	0.1476	○	0.2372	0.2714	×
東広島	983.74	1262.06	×				0.2598	1.8243	×
広島	496.64	551.61	×	0.0029	0.0273	×	0.6298	0.3530	○
工場	447.88	388.63	○	0.0028	0.0034	×	1.40195	0.9251	○
山口	1122.47	881.60	○	0.2049	0.2508	×	0.7236	0.5096	○
北九州	600.37	650.98	×	0.0473	0.2718	×	0.3019	0.4226	×
中津	474.31	255.47	○	0.0073	0.0202	×	0.4004	0.3297	○
福岡	627.75	676.71	×	0.0494	0.0565	×	0.6899	0.5325	○
鞍手	339.57	132.82	○				0.8362	0.2896	○
本社	40.52	56.92	×				0.6820	0.6040	○

5. 環境経営目標

●2021~2023年の目標値は、過去実績と今後の計画を年度毎に検討し設定しています。

・対象：二酸化炭素排出量、産業廃棄物排出量、水使用量

・環境経営目標（原単位）は売上高（百万円）に対する上記３つの排出/使用量を対象

・使用量の定義：計算式＝発熱量×排出係数×44/12
　LPG：発熱量50.8×排出係数0.0161×44/12･･･2.998893kg-CO2 / ℓ
　軽油：発熱量37.7×排出係数0.0187×44/12･･･2.584963kg-CO2 / ℓ

・二酸化炭素換算係数は環境省の令和3年度「電気事業者別排出係数一覧」を適用
　・中国電力　：0.585kg-CO_2/kWh　　・関西電力　：0.318kg-CO_2 /kWh
　・中部電力　：0.426kg-CO_2/kWh　　・東京電力　：0.442kg-CO_2 /kWh
　・エネット　：0.409kg-CO_2/kWh　　・大和ハウス：0.524kg-CO_2/kWh

排出	単位	年度	区分	全社				
CO2 >電力 >LPG >軽油	kg-CO2/売上	19	基準値	534.39				
		20		604.01				
		21	目標値	551.23	19年比	3.1%	20年比	-10%
		22		545.11	前年比	-1.1%		
		23		536.62	前年比	-1.6%		
廃棄物	t /売上	19	基準値	0.0876				
		20		0.1090				
		21	目標値	0.0907	19年比	3.4%	20年比	-20%
		22		0.0901	前年比	-0.6%		
		23		0.0891	前年比	-1.1%		
水	㎥/売上	19	基準値	0.4881				
		20		0.5355				
		21	目標値	0.4831	19年比	-1.0%	20年比	-11%
		22		0.4783	前年比	-1.0%		
		23		0.4736	前年比	-1.0%		

●2024~2026年の目標値は、2023年度実績と年度毎の売上予測を基に３年分設定します。

※対象（二酸化炭素排出量、産業廃棄物排出量、水使用量）
※基準値から1%減を目標設定とする

目標設定においての変化点
・使用量の定義：計算式＝発熱量×排出係数×44/12
　LPG：発熱量50.1×排出係数0.0163×44/12･･･2.994310kg-CO2 / ℓ
　軽油：発熱量37.7×排出係数0.0188×44/12･･･2.598787kg-CO2 / ℓ
・二酸化炭素換算係数は環境省の令和5年度「電気事業者別排出係数一覧」の「残差」を適用。
　ただし、令和6年7月頃に更新予定とあり、必要あれば公表後に目標設定の見直しを行う。

6. 環境経営計画

★新たな計画の追加

項目		取り組み事項	責任者
二酸化炭素 排出量の削減	電力使用量	不要照明の消灯 ・不在場所の消灯/昼間の事務所及び倉庫の消灯 エアコンの温度設定の徹底 ・設定温度（冷房時25℃、暖房時24℃）/フィルターの掃除 照明設備の代替、新設時に省エネ製品を導入 ・LED照明または無電極ランプ化 デマンド監視装置によるピーク電力の監視 ・フォークリフトの充電時間帯の分散 自然エネルギーの活用 ・倉庫の天井及び側面からの自然光を採光 ・太陽光発電設備の導入 ・★EVトラックの導入	部門長 営業所長 工場長 センター長
	化石燃料の 使用量 ・LPG ・ガソリン ・軽油	アイドリングの停止 ・駐車時はエンジンを停止 燃費の改善 ・エコドライブ運転 ・デジタコによる運行管理（スピード、アイドリング等） 走行距離の短縮 ・レイアウト変更や運行ルート変更 ・セミトレーラ、フルトレーラの導入	営業所長 工場長 センター長
	二酸化炭素の 低排出車の導入	フォークリフト燃料を化石燃料から電気に変更 ・LPG車からバッテリー車に代替え 倉庫新設時、太陽光発電を含む循環型（orクリーン）エネルギーへの一部切替えを推進する	営業所長 工場長 センター長
廃棄物排出量 の削減	廃棄物排出量	取引先名でのマニフェスト発行の推進 ・取引先資産の廃棄 分別によるリサイクルの推進 ・一般廃棄物のダンボールはリサイクルとして排出 ・産業廃棄物のリサイクル	営業所長 工場長 センター長
水使用量 の削減	水使用量	水の流しっぱなしの禁止 ・節水啓発の掲示 節水コマの設置	営業所長 工場長 センター長
化学物質 の適性管理	有害物質の 適性管理	化学物質購入時又お客様の要求により使用する時はSDSによりPRTR法に該当するか確認をして適性に管理	営業所長 工場長 センター長
環境配慮 製品・設備の 購入、販売	環境対応製品 及び設備の購入	クリーンディーゼルエンジンのトラックの購入 アドブルーを使用して排出ガス濃度を低減	営業所長 工場長 センター長
	環境対応製品の 販売	自動車保険エコマーク認定の金融商品の販売 太陽光発電の売電	㈱ニチブツ 営業所
社会貢献活動	取り組み	自動販売機の売上を広島県ジュニアゴルフ振興会に寄付 地域社会への貢献活動 「Green Gift」プロジェクト	営業所長 工場長 センター長 ㈱ニチブツ
環境教育	教育/訓練	新規採用時の環境教育 緊急事態訓練の実施 ・火災/地震避難訓練/油漏れ対応訓練	営業所長 工場長 センター長

持続可能な開発目標とEA21の取組との関係性

SDGs	EA21取組
2 飢餓をゼロに	特別栽培米による化学肥料及び農薬散布の軽減等により、 経費の削減・地力の回復等を図り、持続可能な農業の促進
3 すべての人に健康と福祉を	騒音・振動の防止/化学物質の適正管理
	広島県ジュニアゴルフ振興会への寄付
4 質の高い教育をみんなに	環境教育・訓練
	協力企業との合同研修会
5 ジェンダー平等を実現しよう	働き方改革
6 安全な水とトイレを世界中に	水使用量の削減/節水コマの設置/排水の適正処理
7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	エネルギーの効率的な使用/化石燃料使用量の削減
	省エネ設備の導入/敷地内の緑地化
8 働きがいも経済成長も	働き方改革/奨学金返還支援
	企業ブランドのイメージアップ
11 住み続けられるまちづくりを	３Ｒの推進/廃棄物の適正管理
	建物設備の適切な維持管理/社会貢献活動
12 つくる責任 つかう責任	グリーン購入/紙・資材の省資源化/省エネ設備の導入
13 気候変動に具体的な対策を	フロン漏洩防止
	温室効果ガスの削減
14 海の豊かさを守ろう	豪雨時等の自然災害時に、有害鳥獣等によって荒らされた土地 の流失や、管理の出来ない山林からの土砂や木材の影響を防ぐ
15 陸の豊かさも守ろう	グリーンギフト活動
	紙資源の削減

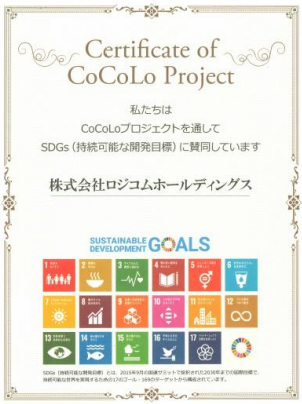
7. 環境経営取組

【二酸化炭素】

太陽光発電で二酸化炭素排出削減

車両の大型化（トレーラ）による軽油使用量の削減
安全性優良事業所（トラック協会）
グリーン経営（交通エコロジーモビリティ財団）

二酸化炭素を排出しないバッテリー式フォークリフトの積極的導入



「CoCoLo（こころ）の会」に藤沢営業所が入会しています。

ＮＰＯ法人CoCoLoが実施する「ＳＤＧｓ達成に貢献する事業」趣旨に賛同し、CO2削減量の認証及び社会貢献に協力しています。

太陽光発電を使用することで温室効果ガス排出量を削減し、国内における地球温暖化対策の活動に参画することで、子育て支援や植林事業等の地域活動に活用されます。

EV ２ｔトラックを導入
CO2排出防止や騒音防止に期待

【廃棄物】

（1）リサイクル

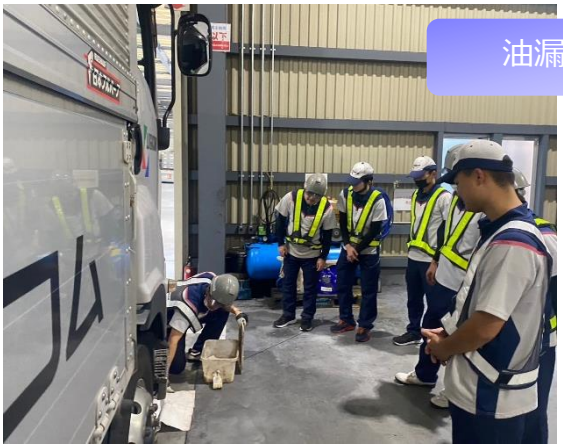
・ストレッチフィルムを圧縮機で圧縮梱包し
　リサイクル業者に売却
・鉄やステンレスのスクラップはリサイクル
・梱包使用済み段ボールを古紙とて
　リサイクル業者に売却/委託
・破損パレットはウッドチップとして
　リサイクル

（2）リユース

・再度利用できる梱包用の
　PP結束バンドは
　分別保管し使用
・ウッドチップ再利用

リスク対応【緊急事態訓練/コミュニケーション】

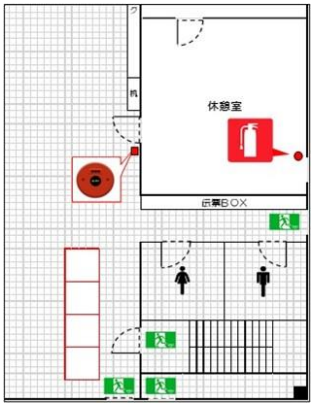
☆品質/安全/環境に関する教育・訓練



☆防災/安全の点検（防災機器/設備・レイアウト図・ハザードマップ　等）

2023年　9　月度　防災・安全点検チェックシート

点検日		2023 年　9 月　22 日（ 金 ）		㈱ロジコム　滋賀営業所　竜王物流センター		
			点検場所は建屋毎に実施すること ＼ 点検場所	点検結果(不具合の内容)		
項目	No.	点検項目	点検内容	倉庫１F	倉庫２F	事務所棟
防災	1	消火設備の点検	消火栓・消火器の定期点検は実施され有効期限が経過していないか	○	○	○
			消火栓・消火器の表示はどこからでもよく見えるようになっているか	○	○	○
			消火栓や消火器の前に物を置いていないか	○	○	○
	2	安全通路、出口の点検	非常口の常夜灯は壊れていないか	○	○	○
			非常口の前に物を置いていないか	○	○	○
			避難通路や階段に物を置いていないか	○	○	○
			階段の照明は破損していないか	○	○	○
			倉庫の出入り口での一旦停止線、安全確認を実施しているか	○	○	○
	3	火気・可燃物の点検	喫煙は指定された場所で、灰皿、吸殻入れに破損腐食はないか	○	---	---



法令遵守【主なコンプライアンス】

(1)2023年度における環境関連法規等の遵守状況
2023年度における自主点検の結果、環境関連法規の違反、逸脱はありません。

(2)訴訟等の有無
環境関連機関などからの法規制違反の指摘、環境問題に関わる苦情、事故及び訴訟等の請求はエコアクション認証後から1件も発生しておりません。

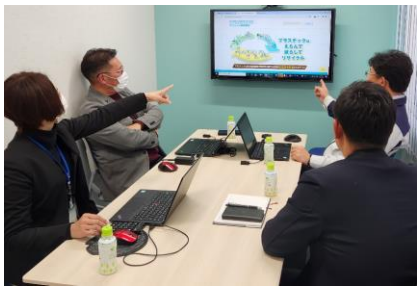
(3)環境法令教育
法規制追加時の共有を実施し確実に法規遵守を徹底する活動を行っています。

【当社に適用される主な環境関連法規制の遵守結果】

適用法	要求事項	評価
省エネ法	・使用状況届出書等の提出と中期事業計画書の報告 ・エネルギー管理統括者の配置 ・エネルギー管理企画推進者の配置	○
廃棄物処理法	・廃棄物の適正処理 ・処理委託業者との契約締結	○
水質汚濁防止法	・事故等の届出	○
浄化槽法	・設置の届出 ・浄化槽の適正な維持管理（点検、検査等の実施）	○
自動車ＮOx・PM法	・規制区域内への乗り入れ証 ・適合車種の導入	○
消防法	・少量危険物貯蔵所の届出と危険物取扱管理者の配置 ・防火管理者の届出 ・消防設備の点検と結果報告	○
騒音規制法	・特定施設の届出	○
公害防止組織法	・公害防止管理者の配置	○
フロン排出抑制法	・第一種特定製品の定期点検	○
電気事業法	・自家用工作物として電気設備の技術基準への適合、関連手続き	○
プラスチック、資源循環促進法	・排出の抑制、教育周知	○

【環境関連法規制追加時の勉強会】

・化学物質管理者選任の義務化
・労働安全衛生規則第151条の3
・太陽電池発電設備の保安規制
・プラスチックの資源循環促進



【働き方改革への取組】

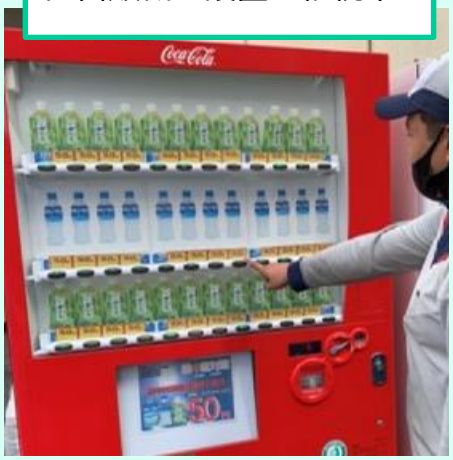
働き方改革

地域未来牽引企業

奨学金返済サポート

SDGｓのほか、
【働き方改革実践企業】
【地域未来牽引企業】
【奨学金返済支援企業】
以上の取組も行っています。

2018年度から、毎年商品バリエーションを変え、熱中症対策の夏場限定50円自販機の設置を継続中。



夏季対策として空調ベストを取り入れています。既製品ではなくオーダーユニフォームとなっており、デザイン性や、機能性、通気性などにこだわりを持っています。

安全ベストは従来の幅が大きいタイプから細いタイプに変更しました。

暑さ対策や安全面において機能性に優れています。

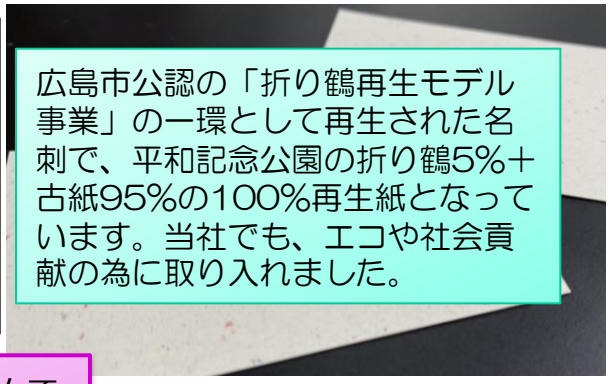
坂町にある北新地グランドの命名権を当社が取得しました。
イベント等、施設の維持運用に貢献と宣伝効果が期待されます。

自動販売機の売上金の一部が、小学生へのスナックゴルフスクールセット寄付支援に使われます。

2023年度「安全ポスター」を、ロジコムグループ従業員及びご家族様へ募集をかけ、「成人の部」「ジュニア部」で表彰されました。目的としては、安全について、より一層向上させるため啓蒙活動の一環で取り組みました。

「ジュニアの部」
テーマ：交通安全
金賞作品

島根県邑南町（中山間地域）でSDGｓへの取組をされており、弊社も水田オーナー制度に参加しています。SDGｓ7項目の目標を水田オーナー制度に参加することで、安定した農家収入を保証し、持続可能な高品質で環境にも優しい農業経営への協力となります。



広島市公認の「折り鶴再生モデル事業」の一環として再生された名刺で、平和記念公園の折り鶴5%＋古紙95%の100%再生紙となっています。当社でも、エコや社会貢献の為に取り入れました。

2023年5月 G7サミットの配偶者プログラムで和傘が使用され、公式にて披露されました。「傘鶴(さんかく)」と命名されたこの和傘は、世界各国から届く折り鶴を再利用して和紙に摺り込んで作成されており、広島の平和の想いが広がるようにという祈りが込められています。

次世代メンバーの育成を兼ねた研修として、課長職以上の管理職を対象に、社長が講師となる「社長塾」を中部関東地区にてリモート開催。

毎年、新入社員研修を実施。
社員が部門紹介で講師をしました。
営業所倉庫内で、倉庫作業も体験。

みずほ銀行様にSDGs取組宣言しお取引させていただいています。
（2030年までのSDGs取組目標：No.4 , No7.2 , No8.5）

8. マネジメントレビュー

項目	環境マネジメントレビュー議事録
日時	2024/6/18（火）　10:30～11:00
出席者	大上社長、中元専務、真木常務、関森取締役、小林社長（アイ） 三浦部長、馬上課長、沖EX
環境経営方針	2024年4月１日改訂
環境経営目標の実績	原単位実績（P10）より 二酸化炭素排出量 ・売上増に伴い使用量も増加するも、原単位目標値に対しては達成しました。 産業廃棄物排出量 ・売上増に伴い、木製パレットやプラスティック類の廃棄量が増加し、原単位での目標は未達となりました。 水道使用量 ・昨年度より使用量が減り、原単位目標値を達成しました。 省エネ法「事業者クラス分け評価制度」 ・Sクラス認定（経済産業省　資源エネルギー庁ホームページに掲載）
環境に配慮した製品・サービスの販売	太陽光発電の賃借と売電。 保険契約約款を印刷物からWeb約款に変更（印刷物の削減） トラック：トレーラー導入による積載量確保と減車・EVトラック導入。
環境経営計画	活動を継続し全員が一丸となって目標達成に向けて努力する。 バッテリー式フォークリフトの導入を推進 （2023年度 バッテリー式33台・LPG切替11台） 新規拠点（営業所/物流センター）は見極め期間後EA21認証登録をする。 （2024年度 行橋営業所・海老名物流センター 取得計画）
内部監査・外部審査からの見直し	環境活動について、品質環境改善計画書の「活動欄の項目」を明確にする。 シーサイドDCの手すり老朽化、海田工場のドレン処理の是正。 2024年度の環境法令遵守評価に項目を追加しました。（P18）より
環境関連法規	環境に関する基本法令と各地域の法令に違反はなく適正に対応をする。
環境教育	新入社員への環境教育や環境レポートの展開による意識付けを行う。
緊急事態訓練	緊急対応訓練を定期的に実施し緊急事態に対する意識付けと行動を明確にする。
環境 コミュニケーション	外部からの苦情はなく、又内部からは環境に関する改善提案を推進する。 環境に関する情報はホームページにて公表する。
社会貢献	・水田のオーナー制度への参加。 ・折り鶴再生モデル事業における名刺の再生紙製作。 ・世界各国から取集した折り鶴から和傘を製造して提供。 ・ロジコムグランド（坂町）命名権による地域活性化貢献。 ・屋上の緑化、地域との環境保全協定の締結、東京海上日動火災保険株式会社の「Green Gift」プロジェクト等を通じて社会への貢献活動を継続。
総評	・カーメーカーの生産台数変動により、生産拠点に携わる、いわゆる営業所毎では目標達成と未達成のバラつきがあり苦戦をしいられていることが判る。 ・引き続きLPGフォークリフトからバッテリー式への変更を進めること。 ・倉庫新設時、既存倉庫に太陽光発電可能なソーラーパネルを積極的に導入検討。